

第1回宗像市地域公共交通会議 会議録

日 時	平成29年7月21日(金) 15時00分～16時00分
場 所	市役所本館第2委員会室
出席者	【委員】石松豊幸、大枝良直、江藤裕一(代理:佐々木庸敏)、福澤好展、森正彦、児嶋二三生、黒川貞一郎、桑野通孝、飛鷹修、関野成人、早川正史、宮地信裕、原田勝子、平田恵美 【オブザーバー】堺裕之(福岡県) 【事務局】秦課長、貞光
報告事項	1) ふれあいバス・コミュニティバスの利用状況について 2) 路線バスの廃止、減便について ・波津線(宗像市～岡垣町) ・津屋崎～鐘崎線(宗像市～福津市)
議 題	1) コミュニティバス車両の入替えについて 2) バス停及び時刻情報のデータ化について 3) 公共交通の利用促進策の見直し(案)について
その他	・総合時刻表(乗換時刻表)の作製に向けた検討資料 ・パークアンドライドの進捗について(国道3号線:日の里) ・次回会議日程について

区分	発言内容等
秦課長	自己紹介
会長	開会あいさつ
事務局	委員交代の報告、紹介 (福岡運輸支局長:江藤裕一)
事務局	報告事項1) ふれあいバス・コミュニティバスの利用状況について 平成28年度のふれあいバス、コミュニティバスの実績を資料により報告。 (質疑等発言なし)
事務局	報告事項2) 路線バスの廃止、減便について 路線バスの廃止(波津線)及び路線バスの減便(津屋崎～鐘崎線)の内容、関係する地域との協議の結果を資料により報告。
平田委員	結構利用があると認識している便が減便されている理由を知りたい。 また、朝夕の通勤通学の時間帯で減便になるのは再検討できないか。
福澤委員	朝と夜の便を削減しないと必要な乗務員の数を減らすことはできない。 事務局の説明資料の内容で地域協議を進めていただいた。個々に要望を考慮するとダイヤは引けなくなるので、基本はこれをお願いしたい。 最終的には1か月前が期限なので、要望があれば便を動かすことは可能。
事務局	事務局と西鉄との協議ではこの内容で行きたいということだった。 改定に関する周知と対応は西鉄が行うことなので、その過程で西鉄が改定内容を変更することになれば、その部分は事務局からも地域に説明していく。
原田委員	神湊方面の系統についてはどうなるか。

事務局	宗像大社を経由する系統はもともとの便数が少なく、利用増が見込めることから減便はしない。増便については今後の利用状況次第と確認した。
会長	報告事項を終了し、審議事項に移る。
事務局	議題1) コミュニティバス車両の入替えについて 車両の入替え案とそのスケジュールを資料により説明。 基本の車両は平成 28 年度と同じ。座席撤去後に座席の位置を調整して乗降しやすいものにする。
平田委員	車両の高さは平成 28 年度導入分と同じか。
事務局	基本的な車両の規格は同じなので、高さは同じになる。
会長	提案どおり進めたいが良いか。(承認)
事務局	議題2) バス停及び時刻情報のデータ化について コミュニティバス等の情報のデータ化について、九州産業大学のグループと株式会社ナビタイムジャパンの2者で実施することを資料により説明。
児嶋委員	携帯電話でも利用可能か。
事務局	スマートフォン等であれば経路情報が検索結果として表示される。
児嶋委員	ナビタイムは有料の部分もあるようだ。
事務局	有料サービスになる面はあるが、手段が一つでも多い方が良いという考えでナビタイムでも情報提供の準備を進めている。既に有料サービスを利用している人は活用できる。
オブザーバー 堺氏	渡船情報は反映される予定か。
事務局	反映されると認識している。
会長	九州産業大学等とデータ化して行きたいが良いか。(承認)
事務局	議題3) 公共交通の利用促進策の見直し(案)について 無料乗車キャンペーンに替わる利用促進策(案)について資料により説明。 ①くりにえいと祭り(絆フェスタ)でのPRブースを設置 ②特急「むなかた号」を「県下一斉利用促進キャンペーン」に情報掲載 関係機関との調整不調となれば例年どおり無料乗車キャンペーンを実施。
平田委員	良いことだと思う。手伝いが必要なら声をかけてほしい。
福岡運輸支局 佐々木氏	この取り組みにあたっては、公共交通網形成計画の変更は必要ないか。
事務局	今回の取組みは公共交通網形成計画に記載している施策の具体化であり、公共交通網形成計画の内容と異なることをやっているという認識はない。
会長	実施に向けては課題もあると思うが、これまでと大きく視点を変えて、無料乗車キャンペーンに替わる利用促進をやっていくということで良いか(承認) 以上で協議事項を終了する。
事務局	その他) ・総合時刻表(乗換時刻表)の作製について次回以降の会議で検討したい。 検討資料として他市町村の作製物を事前に配付。 ・パークアンドライドの進捗について(国道3号線:日の里) 公共交通網形成計画の施策の一つとして、8月中の供用開始に向けてバス停を整備中。
早川委員	その他) ふれあいバス等の改定の間隔を短くできないかとの意見が地域にある。
事務局	2年に1度の改定だが、検証・調査作業に1年を要している。毎年改定するとなると、改定後の形で動き出した頃には次の改定に向けた作業を始めないと

	<p>いけない。改定後の内容が良し悪しを検証せずに次の改定を行うことなる。</p> <p>改定後に1年走らせてみて、その評価を基に次の改定を行うために2年の間隔の基本としている。公共交通網形成計画の記載内容でもあり、パブリックコメントも経て市民の理解も得ている。</p> <p>ただし、全体的な大改編が必要となったような場合にはこれに限らない。</p> <p>この件には背景があり、基本的な改定のタイミングではない時期に個別の要望に随時応えていくということは適当ではないという考えを市としてすでに回答している。</p>
早川委員	<p>理解した。改定準備の段階で地域の人たちからもっと細目に要望を収集していかねばならないと反省しているところである。</p>
児嶋委員	<p>その他)</p> <p>南郷地区コミュニティにクレームが2件来ているが、経過と防止策について全然報告がない。</p> <p>変な誤解が変なうわさになっては困る。対応はきちっとしてほしい</p>
事務局	<p>これについては南郷地区コミュニティからということではなく、コミュニティ課職員が利用者から受けた苦情であると捉えていたため、状況把握と利用者への説明対応を運行事業者に依頼し、その報告を受けていた。</p> <p>要望やクレームについては要求の相手方に直接回答、対応してきた。要求の相手方の把握に問題があった点については注意していく。</p>
事務局	<p>・次回の会議日程について</p> <p>12月の予定を9月もしくは10月に開催するよう変更したい。</p> <p>日程については後日調整をお願いする。</p> <p>公共交通活性化協議会の構成員を関係者として招集して会議を開催する。</p>
会長	<p>本日予定された次第は終了。</p>

(以上)